



令和4年2月度の活動

廃プラリサイクル～燃料(軽油)工場見学 2月26日(土)

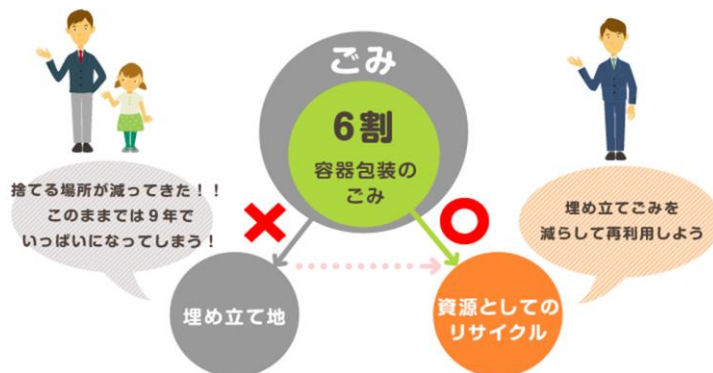


溶かしたキャップの塊を高温で溶かして軽油にする装置。今日、見学させて戴いた工場は、伊豆島田にある豊富士商事株式会社でした。

廃プラ(ペットボトルキャップ)から軽油を抽出
 この工場は市内で随一の廃プラスチックリサイクル工場で、廃プラを熱処理して、軽油を抽出して工場内で発電機・フォークリフト等の燃料に使用しているそうです。
 公道で走る車両に使用するには、色々な法律をクリアする必要があるとのこと、せめて、美化センターの車両で使用すべきと思いました。リサイクル事業を促進するためにも行政の前向きな取組みが必要かと思われます。毎日の生活では、できるだけゴミを出さない、また、再利用できるものは利用することが、習慣づける必要があると思いました。



ペットボトルキャップは質の高いリサイクルにつながる。
 破碎機で粉々にして高熱(200度～250度)で溶かして、一定の大きさの塊をつくる装置。



「野鳥・昆虫が寄ってくる」仙郷の森づくり 2月3・17・24日 仙郷の森(多目的広場)



ミツマタの花が咲きました

ミツマタはなかなか趣に富んだ春の花木です。新葉が芽吹く前に枝先に花だけが開花、冬が終わり待ちわびた春がきたとを喜んでるように見えます。うつむくように下を向いて咲く花には芳香があり、小さな花が集まって半球形をつくっています。枝は3つに分枝し、これが「ミツマタ」の名前の由来となっています。強い繊維質の樹皮は、強度の高い良質の紙の原料として有名で、紙幣などにも使われています。仙郷の森には、10本ほど観られます。

・ヤマザクラ・サトザクラ(八重)の苗木を5本づつ植樹しました。
 ・ドウダンツツジ苗木も20本ほど植樹しました



◎◎さとやまレンジャー《親子体験学習》◎◎

◇日 時 令和4年3月13日(日) 9:00～14:00
◇集合時間 8:45(受付開始)
◇活動場所 仙郷の森多目的広場
◇対象者 さとやまレンジャー(親子体験学習会員)・一般
◇活動内容 森で遊ぼう・ネイチャーゲーム
◇服 装 普段着・運動靴
◇費 用 無料
◇持 物 弁当・飲料水・帽子・手袋・タオル・筆記具・マスク
※会員:参加者の方は3月10日までに連絡をお願いします。
(090-2689-6913(須藤))



◎◎昆虫・野鳥が集まる「仙郷の森づくり」参加者募集◎◎

◎日 時 毎週木曜日◎活動時間 10:00～14:00
◎集合場所:仙郷の森(多目的広場)◎対 象:森づくりをやりたい方
◎活動場所 仙郷の森(多目的広場)◎活動内容 雑木・竹伐採片付け等・落葉広葉樹植樹
◎参加費 無料◎服 装 作業できる服装 ※道具はお貸しします。
◎持 物 弁当・手袋・帽子・飲料水・弁当・マスク
※参加してみたい方、木曜日以外に参加希望の方は須藤まで連絡をお願いします。090-2689-6913
※活動場所が分かりにくいので、参加者に後日、連絡します。

豊かな森は、自然からの、かけがえのない恵みです。

森と環境

カーボンオフセットって何?

カーボンとは炭素(たんそ)という意味ですが、カーボンオフセットというときのカーボンは、二酸化炭素(カーボンダイオキサイド)を指します。オフセットとは、うめ合わせという意味です。出してしまった二酸化炭素を、違う方法でうめ合わせ、帳消しにする考え方をカーボンオフセットといいます。

二酸化炭素には、熱をとじこめる性質があるので、二酸化炭素を増やすことは、地球温暖化を進めることになります。石油やガスを燃やし、それによってつくられた電気を使うことは、二酸化炭素を出すことになるので、なるべく減らしたいものです。

でも、テレビを見たり、お風呂をわかしたりなど、ふだんの生活をしているだけで、電気も石油もガスも使ってしまうものです。そこで、そのうめ合わせをしようというのが、カーボンオフセットです。

たとえば植林や森林保護もひとつの方法です。二酸化炭素を吸い込んでくれる森林を育てることで、出した二酸化炭素を帳消しにするのです。



森林保護は、木を利用するそして、苗木を植樹する、育てる。このサイクル廻すことです

「野鳥・昆虫が集まってくる」森づくり

箱根外輪山 三国山西麓里山 NPO法人里山会 公文名ファイブが行なっています。



★木の実と野鳥の密接な関係★

小さく、熟すと赤など鮮やかな色になる木の実は、少なくありません。

じつは、その理由も鳥と密接な関係があるようです。植物は、自らの意志で移動することができません。

しかし、種の繁栄を考えるとなるべく遠くにタネを届けたいところです。

そこで、一部の植物は戦略として、鳥に目立つように進化し、野鳥が丸呑みできる大きさに進化したと考えられています。木の実は、タネが成熟すると野鳥に食べてもらうために色を変えます。そして、熟した実を一部の野鳥は丸呑みにし、果肉部分を消化し栄養として取り込み、消化できないタネを少し離れた場所で排泄します。

排泄されたタネはその地で芽を出し、生長していくという関係ができています。

植物の中には、鳥の消化器官を通して発芽率が上がる種類があることも分かっています。

地球は、人間だけが住むだけの場所ではない、動植物と一緒に暮らす場所です。

NPO法人里山会 公文名ファイブ

